

経済学部における履修について

(平成25年度以前昼間コース編入学者用)

長崎大学の教育課程は、幅広い教養を身に付けるため長崎大学全体で行う**全学教育**と、各学部が行う**専門教育**に分かれています。昼間コースの授業は、教養セミナーを除く全学教育は文教キャンパスにおいて、教養セミナーと専門教育は経済学部（片淵キャンパス）において開講されます。ただし、編入学生は、全学教育及び専門教育の学部導入科目と自由科目の単位は修得済みとみなします。

なお、重要な履修上の注意点は**学生便覧**に掲載されています。また、各年度に開講する授業の詳しい内容は**シラバス**に掲載されています。原則として入学年次の学生便覧に記載されている規則が卒業まで適用されますので、入学時に配付された学生便覧やその他の資料を卒業まで大切に保管しておいてください。また、学生便覧の記載事項に変更が生じた場合は、学務係前ならびにNU-Web掲示板を通して通知しますので、毎日確認してください。

1. 履修体系について

経済学部の専門教育の履修に関する事項は、学生便覧のP32～34に掲載されています。各自、目を通しておいてください。

2. その他の注意事項

- ★ 「履修登録」は指定された期限までに、NU-Webによって必ず行ってください。その際、画面上で登録内容に間違いがないか必ず確認してください。履修登録が正しく行われていなければ、授業や試験を受けても原則として単位は認定されません。
- ★ すべての授業科目が毎年開講されるわけではなく、隔年（1年おき）開講科目、数年に一度開講される科目があります。たとえば隔年開講科目の単位を修得できなければ、同一科目を履修するには1年以上待たなければなりません。
- ★ 履修登録を行い、実際には履修せず後でその科目を放棄すると、履修登録上限解除や授業料免除者選考の際に用いられる成績順位（評点）が下がります。授業には必ず出席し、しっかりと講義ノートを作成し、また予習・復習を十分に行うよう努力することが大切です。
- ★ 教員に質問したい場合などは、授業時間中や授業終了直後、あるいはシラバスに記載された**オフィスアワー**を利用するか、各教員がシラバス等に指定する方法によって直接連絡をとってください。
- ★ 成績は、年2回、前期・後期の成績開示日以降にNU-Web で直接確認してください。
なお、前期、後期の成績確定後に、学生の保証人に成績通知を行います。また、単位修得状況が不振な学生に対しては前期・後期のはじめに履修指導を行い、これに参加しない学生は保証人に通知します。

- ★ 大学から学生に対する通知・連絡などは学務係前およびNU-Web上の**掲示板**を通じて行われます。通学時に必ず1日1度は掲示板を確認するよう心掛けてください。また、経済学部ホームページ（在学生の皆様へ）にも基本的な情報を掲載していますので、有効に利用してください。（<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/>）

～卒業延期（留年）を防ぐために～

よくある留年パターン

パターン1：授業に出席しない、単位を修得できない。 →早いうちに登校しなくなる。

編入した学生は、2年間で多くの単位を修得しなければなりません。3年次後期からは就職活動も始まります。履修登録の上限がありますが、3年次に登録した科目全部の単位を修得するようにしてください。そのためには、継続的に講義に出席し、分からないことは先生に聞くなど積極的に講義に臨むことが必要です。

また、過度の、とくに深夜の時間帯のアルバイトを行うと、履修上困難をきたすことがあるので極力避けてください。

パターン2：卒業要件の間違い。

学生便覧に示されている卒業要件を間違えると、たとえ総修得単位数が充足されていても、卒業できません。各科目区分の卒業要件としての単位を修得しているかどうか、しっかりと確認してください。

パターン3：考査（試験やレポート）での不正行為

試験やレポートでの不正行為は、当該学期の授業科目の単位が与えられないほか、訓告、停学、退学等の処分が行われることがあります。

昼間コースの履修体系および注意事項

平成25年度以前昼間コース編入学者

	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業科目区分**								
全学教育科目(30単位) ^{***}	月、火、水、(木or金)	月、火、水	木、金	木、金				
学部導入科目(8単位) ^{*1}	木、金							
学部基礎科目(20単位) ^{*2}		木、金	月、火、水		月、火、水	木、金		
コース基礎科目(12単位) ^{*3}				月、火、水		月、火、水		
コース別科目(28単位) ^{*4}					月から金	月から金	月から金	月から金
演習(8単位)				基礎ゼミ(月or火) ^{*6}	専門ゼミ(月or火or木or金)		卒研ゼミ(月or火or木or金)	
自由科目(20単位) ^{*5}					専門教育科目から自由に選択し、履修する授業科目			
上限単位^{*7}								
全学教育科目	12単位	12単位	8単位	8単位				
専門教育科目	(44単位)-(全学科目の前後期合計単位)		(48単位)-(全学科目の前後期合計単位)		40単位(演習を除く)		40単位(演習を除く)	
					※履修上の注意 専門・卒研ゼミの履修(原則として同一の指導教員の下、履修する。) 卒研ゼミの着手要件 ⇒ 卒研ゼミを履修するためには専門ゼミの単位を修得していなければならない。			

** : かつこ内は最低修得単位数

*** : 第3年次編入学生は、既に修得したものと認定する。

*1 : 1科目2単位。なお、第3年次編入学生は、既に修得したものと認定する。

*2 : 1科目4単位。編入学生は(B)クラスの履修登録をすること。

*3 : 1科目2・4単位

*4 : 1科目2・4単位。なおコース基礎科目の最低修得単位数を超えて修得したコース基礎科目の単位はコース別科目の最低修得単位数に含めることができる。(学部規程第10条第2項参照)

*5 : 1科目2・4単位。なお、第3年次編入学生は、既に修得したものと認定する。

*6 : 選択科目

*7 : 詳細は経済学部規程第13条(履修科目の登録の上限)、第14条(履修科目の登録の上限の特例)及び全学教育履修規程第10条(履修科目の登録の上限)参照